

# OTOGAWA

愛知県岡崎市の乙川リバーフロント地区では、2015年から主要回遊動線「QURUWA(くるわ)」を中心に、豊富な公共空間を活用した複数の社会実験を通して、公民連携プロジェクトを立ち上げ、「QURUWA戦略」としてエリアの再生に取り組んでいます。

QURUWA 

自分たちの  
まちが  
じゃなくてまち

# GRAND DESIGN

QURUWA 戰略  
グランデザイン金賞受賞!  
リバーフロント地区の公民連携まちづくり  
2023年度、の年間の取り組みを収録。

## CONTENTS

- |  |   |
|--|---|
| 04 NEWS   ベビードットデザイン金賞                               | 02 PROJECT SUMMARY   2023年度QURUWA戦略アート                |
| 05 QURUWA PROJECT   QURUWA戦略改訂                       | 07 QURUWA PROJECT-1.8   国立教育文化館解体 東岡崎駅ヒーリングビジョン更新     |
| 08 SYMPOSIUM   QURUWA ハッピーフォーラム —— わたしが描く「ひがおかの未来」   | 05 QURUWA PROJECT-4   ねむねわリゾートプロジェクト更新                |
| 11 QURUWA PROJECT-10   QURUWA事業リノベーションスクール2023       | 12 QURUWA PROJECT-11   情報発信座談会 QURUWA発信みんなの座談会        |
| 14 QURUWA PROJECT-12   回遊支援                          | 15 QURUWA PROJECT-12   回遊支援                           |
| 16 RELATED PROJECT   有料観察、スタートしました — 2023年度の都市再生推進法人 | 17 RELATED PROJECT   エバーウェルス健康(えひくい音頭) キャンピングオフィス 桜城橋 |
| 18 RELATED PROJECT   QURUWA 出店情報 2023                | 19 CONFERENCE   2023年度 QURUWAデザイン会議                   |

Vol.

# プロジェクトサマリー 2023年度 QURUWAの まちづくり

2015年からはじまる乙川リバーフロント地区のまちづくり9年目となる2023年度。2020年から続く新型コロナウィルスの感染拡大も比較的落ち着き、政府は2023年3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しました。2024年の3月まで、少しずつこれまでの日常を取り戻そうとする、そんな奮闘の一年でした。

2023年度には、新たにQURUWAプロジェクトが追加されました。名古屋鉄道(株)と岡崎市が土地を共同化し、橋上駅舎、南北自由通路、バスターミナル、駅ビルの一体整備と「子

「世代をはじめとした多世代に親しまれる」  
「場所をつくる事業である「東岡崎駅整備事業」」(QURUWAプロジェクト8)。

康生2丁目/3丁目を対象として、中央緑道  
引き込むウォーカブルな空間づくりと都市  
コンテンツにより、QURUWAの新しいライ  
スタイルをつくる エリアマネジメントを実施  
る事業「南康生エリアリノベーション事業」

ちの潜在資源を活用して都市・地域の経営  
問題を解決を図る事業「リノベーションまちづ

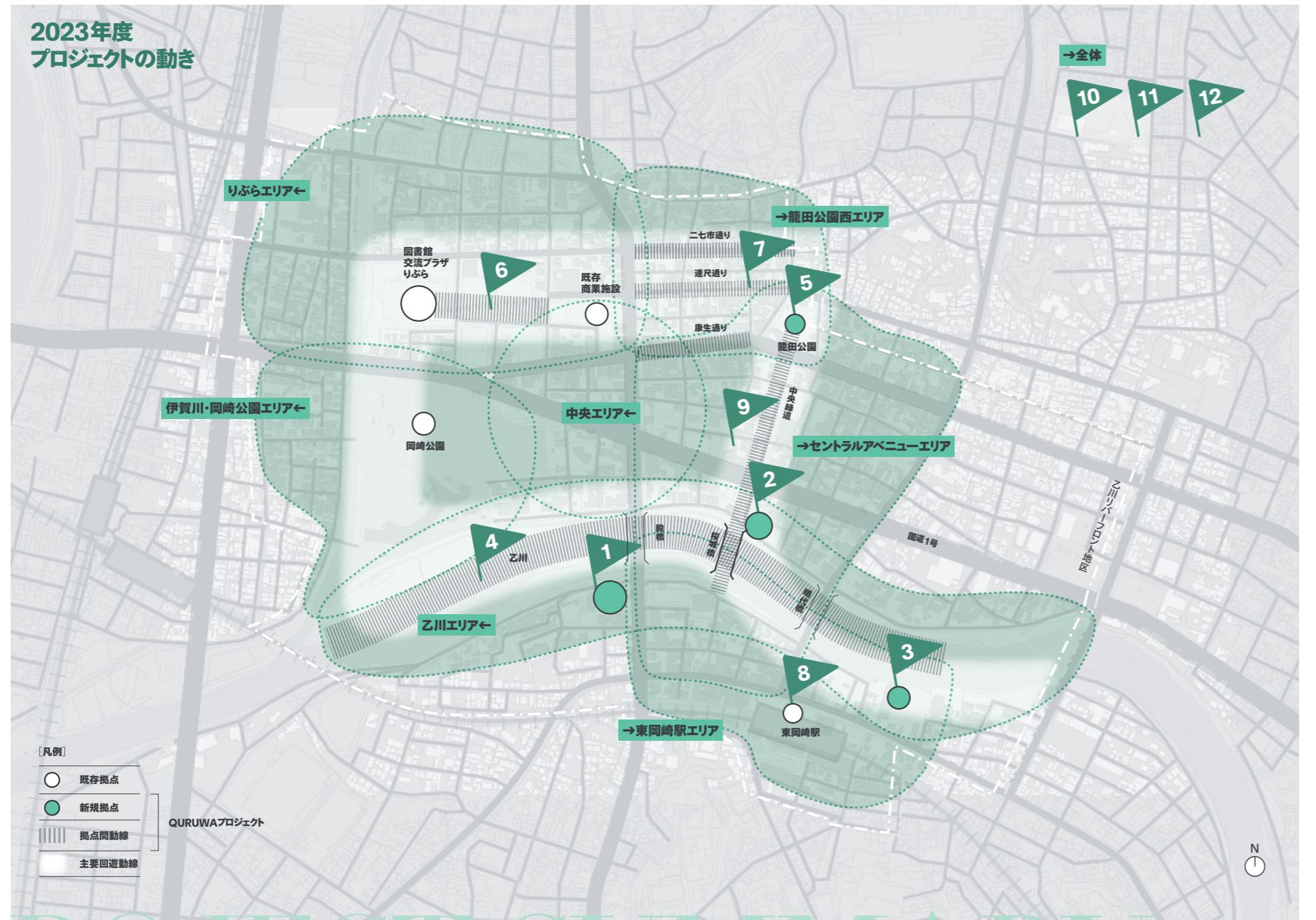
「事業」(QURUWAプロジェクト10)。

間の投資や活動を誘導するため、QURUWA プランディングと情報発信をおこなう事業「プランディング&情報発信」(QURUWA プロセクト11)。

JRUWA地区内でモビリティ等を活用して回遊促進を図る事業「回遊支援事業」(JRUWAプロジェクト12)と、これまでの7プロジェクトから12プロジェクトに増加しました。

- ▶ **QURUWAプロジェクト1**  
ホテル・コンベンションの整備・運営
  - ▶ **QURUWAプロジェクト2**  
桜城橋橋上広場・橋詰広場の整備・運営
  - ▶ **QURUWAプロジェクト3**  
東岡崎駅周辺の整備・運営
  - ▶ **QURUWAプロジェクト4**  
乙川のかわまちづくり
  - ▶ **QURUWAプロジェクト5**  
籠田公園・中央緑道の整備・運営
  - ▶ **QURUWAプロジェクト6**  
りぶら暫定駐車場の活用
  - ▶ **QURUWAプロジェクト7**  
道路空間の運営(康生・連尺・二七市通)
  - ▶ **QURUWAプロジェクト8**  
東岡崎駅整備事業
  - ▶ **QURUWAプロジェクト9**  
南康生エリアリノベーション事業
  - ▶ **QURUWAプロジェクト10**  
リノベーションまちづくり事業
  - ▶ **QURUWAプロジェクト11**  
プランディング&情報発信
  - ▶ **QURUWAプロジェクト12**  
回遊支援事業

## 2023年度 プロジェクトの動き



# PROJECT SUMMARY



## NEWS

# QURUWA、 グッドデザイン 金賞受賞

自治会の連合体が支える公民連携まちづくり「QURUWA戦略」が、2023年のグッドデザイン賞を受賞しました。

## グッドデザイン賞とは？

デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動です。1957年の開始以来、シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれてきました。製品、建築、ソフトウェア、

システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られます。かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰しています。

2023年度には5,447件もの応募がなされ、その中でデザインが優れていると認められるものに「グッドデザイン賞」が贈呈されます。2023年度は1,548件がグッドデザイン賞に選ばれています。

さらにその中から特に優れた100件が「グッドデザイン・ベスト100」として選出。その中から、審査委員会によって選ばれるのが「グッドデザイン金賞」です。その数20件という、高い倍率を乗り越えての受賞となりました。



担当いただいた審査委員のみなさんは、伊藤香織さん、川西康之さん、倉方俊輔さん、平賀達也さん、山崎健太郎さん、Jian Liuさんです。

評価コメントは以下の通りです。  
岡崎市中心市街地の主要街路と川辺を結び再生させていく都市戦略。行政による公園・緑道・河川敷など公共空間の改修である「大きなリノベーション」と、それにインスピアされて自分たちのまちを主体的に担つていこうとする地域や民間による活動や空間づくり「小さなリノベーション」の双方が、まちに再び市民の居場所を創出するものになっている。公・民がそれぞれの立場を活かして協働することで創造性が発揮されている好例である。

## グッドデザイン賞ウェブページ



愛知県岡崎市

## 自治会の連合体が支える公民連携まちづくり QURUWA(くるわ)戦略

【プロジェクト】QURUWA戦略  
アワード・グランプリ受賞  
自治会の連合体  
QURUWA7町・広域連合会とは？

QURUWA戦略とは？

QURUWA7町・広域連合会とは？

主要回遊動線「QURUWA」の回遊

QURUWA戦略に関わる年表

波及エリアを追加したマップ

NEWS/QURUWA PROJECT

OTOGAWA GRAND DESIGN Log

Vol.11

04

05

OTOGAWA GRAND DESIGN Log

Vol.11

## QURUWAプロジェクト

# QURUWA戦略 改訂

戦略冊子  
PDF



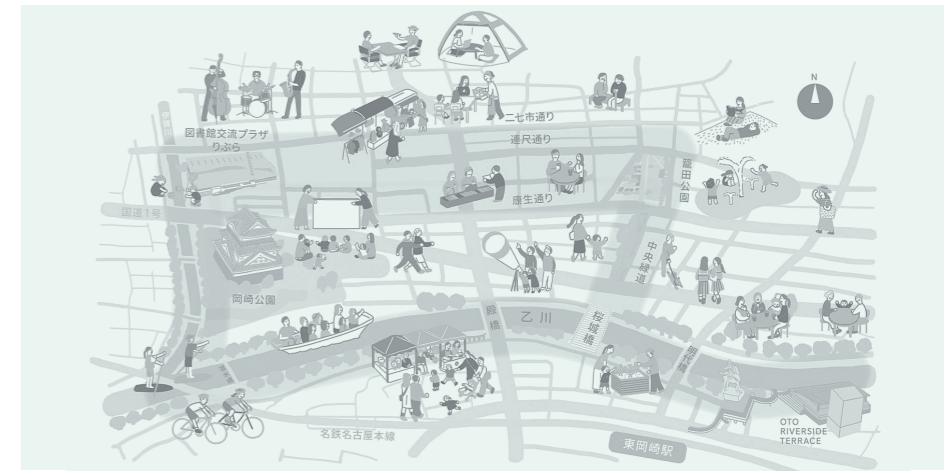
QURUWAウェブでの  
パブリックコメント募集



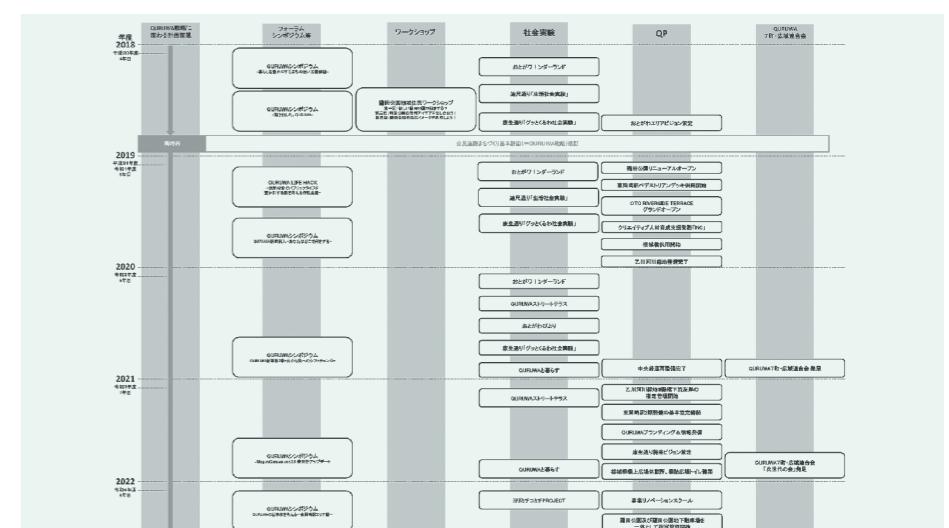
QURUWAプロジェクトの一つ籠田公園



QURUWA7町・広域連合会「KCBR会議」



主要回遊動線「QURUWA」の回遊



QURUWA戦略に関わる年表



波及エリアを追加したマップ

\* QURUWA地区——主要回遊動線QURUWAを覆う、約157haの乙川リバーフロント（略称RF）整備の地区。

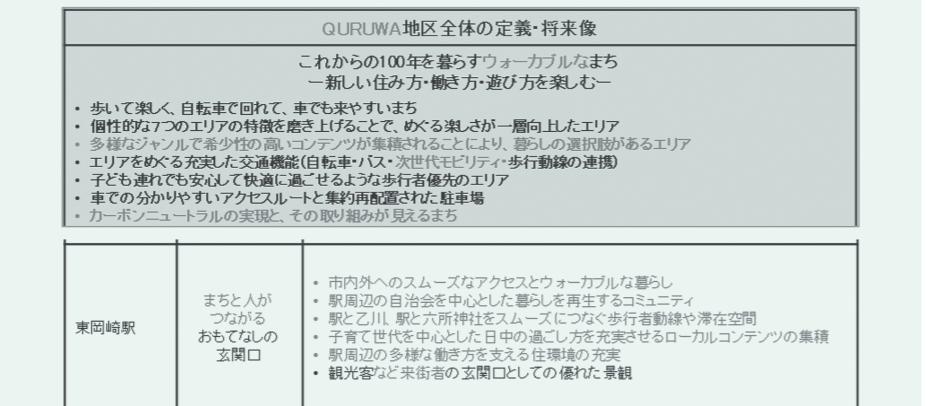
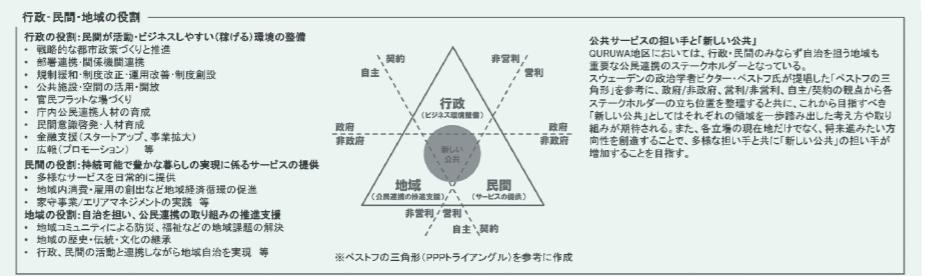
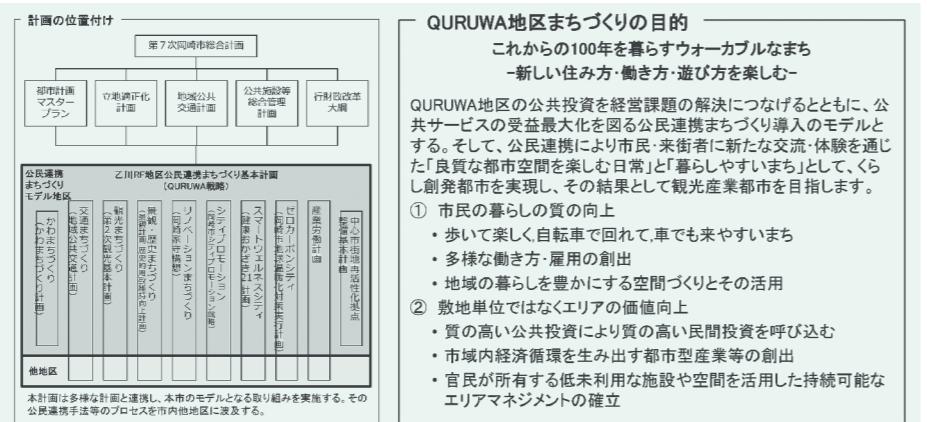
\* 波及エリア——QURUWA地区に隣接する歩行圏内で地域や民間事業者が地域課題の解決等に取り組むエリア。

また、QURUWA戦略は暮らしの質の向上を目指すため、将来都市像として「暮らし創発都市の実現」を明記しました。「暮らし創発都市の実現」とは、ある要素の集合が単なる「その集まり」ではなく「異なる様相」になるという意味の「創発」という言葉をふまえて、QURUWAのなかで人々のくらしが「生活の集まり」を超えて、その集合によって「内外の人にとって魅力的な都市」になることです。トップダウンの「都市計画」とも、ボトムアップの「まちづくり」とも違い、人々の自分らしい暮らしとまちへの思いがかけあわさって生まれる都市を目指します。

- 行政のみならず、公民連携まちづくりにおける、民間と地域の役割を整理しました。
- スウェーデンの政治学者ピクター・ペストフ氏が提唱した「ペストフの三角形」を参考に、地域、民間、行政それぞれが目指すべき「新しい公共」の担い手としての立ち位置を整理しました。

#### 将来像や定義

- QURUWA地区全体や各エリア、拠点、拠点間動線の「定義」や「将来像」を更新しました。
- 当計画の進展や時代の変化に伴い、QURUWA地区全体の定義・将来像を見直しました。
- 2023年度時点で、整備に向けて動いている東岡崎駅エリアをはじめとしたエリアビジョンの更新をおこないました。



東岡崎駅 まちと人がつながるおもてなしの玄関口

# QURUWAシンポジウム 2023

## わたしが描く 「ひがおかの未来」

告知 当日動画前半 当日動画後半



QURUWAシンポジウム  
わたしが描く「ひがおかの未来」  
日時: 2023年10月2日[月]13:30-16:00  
場所: 岡崎市役所福祉会館6階ホール  
主催: 岡崎市  
参加者: 176名

### コーディネーター

藤村龍至 | Ryuji Fujimura  
建築家/東京藝術大学准教授/RFA主宰/  
QURUWAアドバイザー

### パネリスト

松本大地 | Daiji Matsumoto  
商業・マーケティングコンサルタント/  
商い創造研究所代表取締役

清水義次 | Yoshitsugu Shimizu  
建築・都市・地域再生プロデューサー/  
アフタヌーンサエティ代表

尾関謙治 | Kenji Ozeki  
名古屋鉄道株式会社まちづくり推進部長

小野元幹 | Motoyoshi Ono  
小野ふとん店 代表取締役

中村衣里 | Eri Nakamura  
岡崎市企画課企画1係係長

小野田整 | Hitoshi Onoda  
岡崎市拠点整備課総務企画係係長

### プログラム

#### 第1部 | 情報提供 | 岡崎市

- 1 | QURUWA戦略と東岡崎駅エリア
- 2 | 昨年度シンポジウムの振り返り+現状共有
- 3 | 「駅まちデザイン」について

#### 第2部 | 先進事例レポート

- 1 | 事例報告 | 盛岡バスセンター/キーノ和歌山/東武動物公園駅

- 2 | 専門家解説

#### 第3部 | パネルディスカッション 「駅とまちのつながり」



会場のようす

2023年10月2日、岡崎市役所福祉会館6Fホールにて、QURUWAシンポジウムが開催され、地元住民をはじめ、事業者、行政関係者等、総勢176名が参加しました。

今回のシンポジウムでは、商い創造研究所の松本大地氏を迎え、東岡崎駅と周辺地区の持つポテンシャルについて基調講演いただき、QURUWA戦略のアドバイザーである清水義次氏、藤村龍至氏を交え、今後の駅と周辺地区のまちづくりの方向性について、パネルディスカッションをおこないました。

まず第1部では、QURUWAとは何かの説明の後に、前年度シンポジウムの振り返りと東岡崎駅エリアの現状そして、駅まちデザインについて、岡崎市まちづくり推進課の中川係長と拠点整備課の小野田係長から説明がありました。

前年度のシンポジウムの振り返りでは、参画いただいたみなさまから重視したいご意見として以下のような声を多くいただいたことを確認しました。

- ・ローカルファースト(なテナントリーシング)
- ・駅とまちと川の一体的まちづくり
- ・豊かな子育て環境
- ・まちの居場所

その後、東岡崎駅エリアの動向を見ていきました。まずは駅整備。そして東岡崎駅エリアの各自治会長や商店街振興組合長及び若手事業者等で組織する会議体であり、QURUWA7町・広域連合会と連携しながらまちの将来像について共有する「ひがおか連合」について。さらには、駅前エリアにある「北口中央街区」についての状況が共有され、明大寺本町総代である米津総代からエリアの現状についてお話をいただきました。

米津総代 | 明大寺本町の1階にあるお店を見てみると、50軒以上の飲食店がありまして、そのほとんどがお酒を提供する、夜を主体としたまちになってます。そんな状況なので、夜の賑わいというのはすごいものがありますが、以前からこの商店街を担っていた人々がどんどん減っています。一つは高齢化、そしてもう一つは後継者不足。実際に商売をやっている地元の人がいない、という現状があります。

子育て環境に適したまち、それからまちの居場所づくりといったところに変わっていけるのかなという懸念はありますが、今朝、開いてい

た1軒の古い魚屋さんには、常連さんの多くの方が、座り込んで、お喋りしてました。そんなお店があつたら、本当に賑やかな街になるのになというふうに思っております。

第2部では、これまでのシンポジウムでは専門家の方々にさまざまな先進事例を教えていたが形式が多いなか、今回は東岡崎駅エリアのまちづくり、駅まちデザインに関わる地元の事業者さんや行政の担当者が、実際に現地に赴いて地元視点で参考になった点や、取り入れようとする際の疑問や課題などについてまとめて発表していただきました。

選定は、駅まちデザインの5原則に照らして、1番の「多様な主体の連携」の参考事例として岩手県盛岡市にある「盛岡バスセンター」視察担当は、岡崎市拠点整備課の小野田係長と、名鉄都市開発の柴田さんです。2番の「ビジョンの共有」の参考事例として駅ビル内に市民図書館を併設する、和歌山県和歌山市にある「キーノ和歌山」。視察担当は岡崎市企画課の中村係長です。最後に3番の「空間の

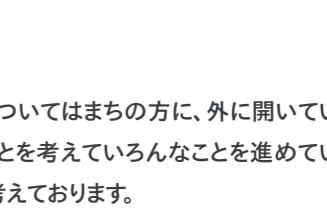
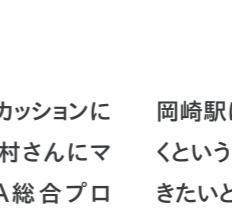
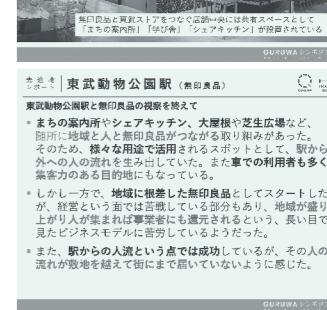
共有」の参考事例として埼玉県杉戸町・宮代町にある「東武動物公園駅」。担当は小野ふとん店の小野さんです。

その後、商い創造研究所の松本大地さんから、専門家による解説として、「ひがおかの未来」という今回のタイトルにから「駅の可能性」についてのレクチャーがありました。

松本 | 昔は駅は閉じていたんですね。その中で、乗降客数を相手に商売をしていくですから、利便価値は確かにありました。一方、今回紹介ありました盛岡バスセンターやキーノ和歌山といった事例は私たちが手がけた事業ですが、私たちは「開かれた駅」をつくるといこうと考えています。

デベロッパーも、テナントも、地域の企業や学校まで含めて、一緒に開かれた駅にしていくこと。そこには、利便価値、エリア価値、そして未来価値が生まれ、地域課題を解決したり、経済循環をつくったり、ローカルファーストによる新たなライフスタイルができるといふことを感じました。

### ③「駅まちデザイン」について



岡崎駅についてはまちの方に、外に開いていくということを考えいろいろなことを進めていきたいと考えております。

小野 | 視察の報告をさせていただいた小野です。視察に行く前には、「まちづくりは誰か賢い人がやってくれたらいいじゃん」と思っているところがあったのですが、視察に訪れて、実際はそこに住む市民とわれわれのような事業者がやらないといけないんだなと改めて思いました。自分たちが主役であり、主体者となる必要があるのかなと強く感じました。

清水 | 話を聞いていて思ったことは、「時代が変わった」ということです。

最近、「ウォーカブルなまち」つまり「歩いて楽しいまち」にしていくという動きを、国交省が呼びかけ、その評判がものすごくいいんです。ひるがえって岡崎のまちがウォーカブルになるとき、重要なのが駅です。駅とまちがウォーカブルで繋がっていくことで、効果的な駅のビジネスとまちのビジネスが両方とも同時に成り立っていくということ。

つまり、駅というある限られた場所じゃなくて、それが周囲のまちとどういう関係性になるかを考える必要があります。

今現在のひがおかのまちは、残念ながらウォーカブルなまちではありません。駅という狭い場所で鉄道からバスへの乗り換えは大変スマートにおこなわれていますが、そこから先が、ブツンと、道路によって隔てられてしまっている感じがします。

尾関 | 名古屋鉄道の尾関です。交通、観光、開発を社内では三位一体のまちづくりと言っていますが、複合的な視点を持って名鉄沿線地域を元気にしていきたいと思っています。東

### ④ 東岡崎駅エリアの動向 | 駅整備



### ④ 東岡崎駅エリアの動向 | ひがおか連合



### ④ 東岡崎駅エリアの動向 | 北口中央街区



中村 | ここにいらっしゃる方も多くそうであったと思うんですけど、人生をともにしてきた駅なので非常に期待しているところですが、私自身子育てをしながら「東岡崎」がうまくつながつてこないんですよね。キーノ和歌山に視察で訪れたときに思ったのが、素敵な空間でありながら「はりきって」行くような場所でない感じがいいなと思ったんですよね。駅が普段使いながら楽しめるような場所であるといいなと思います。

藤村 | 「利便性という悪魔」という言葉がありますが、駅にはといつも利便性という言葉がつきまとい、駅ビルを開発するときはどうしても利便性を売りにしてテナントを誘致するイメージがあります。それをどういうふうに変えているのか。松本さんが今日お示しになったコンセプトは、今まで駅や駅前は消費者の立場、消費の空間として語られてきましたが生産の場だととらえなおそうというメッセージでもあったように思います。

松本 | そうですね。付け足して言うと、僕は岡崎の一番の利点は若い人が楽しみながらやっている、ということ。若い人の力をうまく活用して、今までの駅にはなかったポテンシャルを上げていく、そんなチャンスになるんじゃないかなと思います。

藤村 | みなさんありがとうございました。本日のポイントのひとつは、松本さんのお話から駅を消費の場だけでなく生産の場として考えていく、共創の場として考えていくということ。それによって駅自体が新しい情報を発信していくという考え方です。

若い人や異業種とのコラボレーションや、岡崎のローカルや地域の繋がりを生み出す仕組みそのものが駅の中に内包されてる。そういうインキュベーションの場としての駅というイメージによって、駅そのものが「利便性の悪魔」から解放されていくというストーリーだったと思います。

ひがおかの未来に関して、昨年はローカルファーストや駅とまちのミクストユースということを議論してきましたが、今年は一歩進んで、より具体的な共創の場をどうつくるかの議論ができたと思います。2030年の駅ビル開業に向けて、具体的な場づくりのイメージができたかな、と。

QURUWAの籠田公園や中央緑道もその今、の賑わいができるまでに5年ぐらいかかりました。駅もこれから5年経てばもっとパワフルな新しい場になっていく可能性を秘めている

と思います。

最後には、東岡崎駅エリアのロゴについての紹介とともに、岡崎市拠点整備課の田中さんによる「わたしが描く「ひがおかの未来」」と題したエッセイが読み上げられ、シンポジウムが終幕となりました。



### わたしが描く「ひがおかの未来」

私は、東岡崎駅エリアで3歳になる息子と旦那と暮らしている、今年31歳になるママ。今度の春には、お腹にいる娘も産まれて4人家族になる予定だ。

今日は息子と一緒に、乙川沿いを散歩しに来た。この辺りは歩きたくなる空間が広がっていて心地良いため、息子がベビーカーの時から私たちの散歩ルートだ。私は、この東岡崎駅エリアでずっと暮らしてきたが、自分が学生の頃と比べると更に便利で暮らしやすいまちになった。特に東岡崎駅が新しくなってからはまちが大きく変わったと感じる。

変わったと言っても、全部が全部変わったという訳ではない。新しくなった駅がまちの雰囲気に馴染んでいて調和がとれているというのだろうか。前からあるまちなみを大切にし、新しくできたものがまちに溶け込むデザインが、私はとても気に入っている。

オトリバーサイドテラスを横目に見ながらペデストリアンデッキを渡ると、吹き抜けが見える。駅内にある広場の天井が吹き抜けになっているのだ。初めは、子どもが駅に行きたがるとは思ってもいなかつたが、息子に遊びに行きたいところを聞くとこの広場がよく候補に挙がってくる。ここはただ遊ばせるのではなく、遊びや創造を体験させられる場。大人にとっては交流の場だ。ここに来ると、いつも同世代のママたちがいて、困ったことは気軽に相談できる。子育て世代の心のヨリドコロである。

その一方で、会社へ向かうサラリーマンの通り道もあり、休憩スペースもあるようだ。向こうの方では、おばあちゃんの目線の先で子どもが遊具で遊んでいる。部活帰りの学生が仲間たちとドリンクを片手に座っておしゃべりしている姿も見える。この広場は、様々な世代の人々が居心地良く過ごすことができるみたいだ。

よく会うママ友に挨拶し、次は駅ビルに寄ることにした。ここには岡崎で採れた食材を使用した、地元で人気の高いお店等が入っていて、ここでしか食べられないもの、買えないものが手に入る。来週親戚が岡崎に遊びに来ると言っていたので連れてきてあげよう。

そういえば、この前市外で暮らす友人が、東岡崎駅で下車したと言っていた。改札を出ると、木や石を使った特徴的な空間が広がっていて心地よく、温かみある解放的な空間が広がっていると感じられたらしい。外を見ると近くに川があることも分かり、足を伸ばしてみようと思ったそうだ。それを聞いた私は、生まれ育ったまちを褒められているようで嬉しかった。

川に続く方面には、SNSで話題になっている、公園に併設されたカフェがある。実際に、観光客らしい家族連れが、笑顔で川に向かって歩いている姿を私はよく見ている。駅から広がる自然を活かした空間が、長旅を癒してくれるのかな。

あ、今も顔見知りのご近所さんが少し先を歩いているのが見える。この前分けていただいた焼き芋のお札を伝えようかな。こういった、顔の見えるゆるやかなコミュニティがあることもわたしのお気に入り。

そんな素敵なおもてなしの玄関口「ひがおか」から、今日もわたしとまちと人がつながる。

## QURUWAプロジェクト-4 おとがわ エリアビジョン更新

おとがわエリアビジョンは、乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画(QURUWA戦略)における乙川エリアについて、乙川の将来の活用イメージを定義し、エリアの目指す姿や乙川エリアで実施するプロジェクト、マネジメント体制等を示すものです。2018(平成30)年度に策定され、2022(令和4)年度に一部変更を実施しました。(Log.10でも「おとがわエリアビジョン更新」を取り上げましたが、今回はより具体的な更新内容を記します。)

### 策定の目的

エリアビジョンは乙川エリアの将来の活用イメージを定義し、以下3点を目的に策定しました。

- ① 地域・民間・行政でエリアの将来像と短期・中期・長期で展開するプロジェクトや活用イメージを共有する。
- ② みんなで目指す姿を共有し、同じ方向を向いて、地域は暮らしに、民間は事業に、行政は計画・施策に反映していく。
- ③ 目指す姿を明確にすることで良質な民間事業者を呼び込む。

### 更新のポイント

#### 生活者も含めた

#### 「私の川」になるようなビジョンへ

現在(2023年)は社会実験期を終え、継続的に活動している事業者や団体も増えるとともに、日常的に乙川を楽しむ市民の姿もよく見られるようになりました。今回の改正では、そのようなエリア環境の変化を鑑みて、事業者やプログラム実施を前提としたエリアビジョンではなく、市民一人一人がもっと自由に乙川を楽しむことができるような生活者目線を加えたものとしました。

それにより、より深く乙川に親しみ、乙川やこのまちを大切に思う人を増やしていきたい。そんな意図をもって更新をおこないました。

### 更新後(2022年)の構成

- |      |   |
|------|---|
| 目的   | 1. おとがわエリアビジョンとは  |
| 基本情報 | 2. 乙川エリアの基本情報   |
| 目指す姿 | 3. 乙川エリアの将来像(目指す姿)<br>ゾーニングイメージ・推進体制・利活用スキーム            |
| 実現手段 | 4. 乙川エリアで行われるプロジェクト<br>主要拠点プロジェクト・行基主導プロジェクト・民間活用プロジェクト |
| 機関   | 5. おとがわエリアビジョンの実現に向けて                                   |

#### ① エリアビジョン構成の整理

エリアビジョン全体の構成を整理しました(11章構成→5章構成)

#### ② 乙川エリアの基本情報(2章)の更新

より地域住民の視点を取り入れるため、川を広くとらえた上で基本情報の更新をおこないました。

#### ③ 乙川エリアの将来像(3章)の具体化

乙川エリアの将来像を具体化するために、6つのレイヤー([1]自然・環境、[2]風景、[3]特別な日の乙川)、[4]いつもの乙川)、[5]コミュニティ)、[6]周辺エリアとのつながり)に分けて整理をおこない、ワークショップ等で出された意見を参考に、キャッチコピーとビジョン実現のための具体アクションを抽出しました。

#### ④ 個別プロジェクトの(4章)の情報更新

個別ヒアリングを実施し、情報や今後の方針の更新及びプロジェクトの追加等をおこないました。また行政が実施するプロジェクトも新たに掲載しました。

#### ⑤ エリアビジョン実現に向けて

#### 具体的な方策(提案)を掲載

次回更新までに実現することを想定した、エリアビジョン実現に向けた具体的な方策を追加しました。

### 検討の流れ

#### おとがわエリアビジョン更新ワークショップ

プログラム実施者、地域住民などを対象として、ワークショップ(全3回)を実施しました。ビジョン案を話し合い、実現するためのアイデアを出し合いました。



#### 個別ヒアリング

乙川エリアで具体プロジェクトを推進している行政担当課8課と民間16事業者を対象に個別ヒアリングを行いました。



アーリングをおこない、ビジョンへの反映をおこないました。

### 実現に向けて[5章]

#### ①(仮称)おとがわエリアプラットフォームの設立

おとがわエリアビジョンを実現することを目的に、乙川エリアを対象にしたエリアマネジメント組織「(仮称)おとがわエリアプラットフォーム」の設立に向け動きます。エリアプラットフォームはエリア内の拠点事業者、地元企業、民間プレイヤー、町内会等のメンバーで構成され、エリアの課題解決や価値向上の役割を担います。QURUWA7町・広域連合会(KCBR)や他エリアのマネジメント主体とも協働関係を結び、連携しながら進めていきます。

#### ② エリアプロデュースチームの役割整理と位置づけ

エリアでおこなわれるプロジェクトの具体化や民間事業者とともにエリアの魅力を高める事業実施さらには各事業者やそれらがおこなう活動をつなげることでエリアの特性を最大化するエリアの世話役チーム(エリアプロデュースチーム)が必要と考えます。前述したエリアプラットフォームとの連動が必須であり、エリアプラットフォームの実働組織とも言えます。エリアプロデュースチームの事務局を担い、自身の事業を進めながらビジョン実現を進めます。

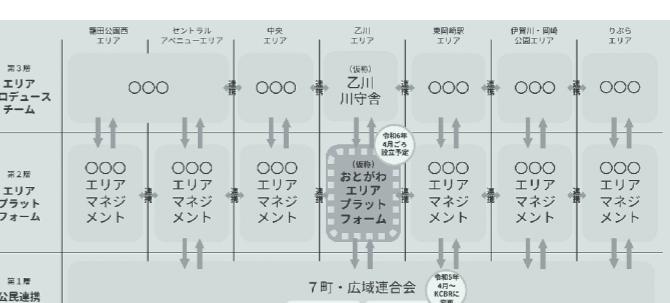
#### ③ エリアビジョンの広報・プロモーションの推進

エリアビジョンはつくって終わりではなく、認知を広げ事業者やプレイヤーだけでなく、日々、乙川を利用する市民までもがビジョンの実現に向け、それぞれの置かれた立場で行動を起こしていくようなものになることが望ましいでしょう。そのため次年度以降から、エリアビジョンの広報・プロモーションを推進していくことが必要です。

本編



概要版



(仮称)おとがわ  
エリアプラットフォーム  
の設立

# QURUWAプロジェクト-10 QURUWA事業 リノベーション スクール2023

昨年度も開催した「QURUWA事業リノベーションスクール(以下、「事業リノスク」)」、2023年度の様子を以下にお伝えします。

開催:7月31日[水]~1月22日[水]の期間中に  
全6回 | 各回13:00~18:00頃  
参加事業者数:10社

岡崎市は、QURUWA地区にいろいろな人が訪れる多様なコンテンツが集積し、寛容性を持つ地区となることを目指しています。「事業リノスク」とは、地域や参加者同士で「オープンイノベーション」をキーワードに連携し本気の企業のみなさんが多彩なゲストとともに自社事業のリノベーション(更新・向上)や新規事業の構築にトライアルするための機会です。

昨年に引き続き2023年7月から2023年12月まで計6回実施! 今回は、昨年度の参加者からのフォローアップもありました。QURUWAのまち歩きや、ゲストや令和4年度参加者によるレクチャー、自社企画の検討やプレゼンテーションなど、各回のプログラムを経て、2023年

12月21日[木]には各社による発表がおこなわれました。

## 参加した7社による提案

### 1 | 小野ふとん店

「(株)小野ふとん店」がある明大寺本町は、近年、昼間の賑わいが少なくなり、住民の減少や高齢化を課題としています。子どもの声が溢れ、人々の交流がおこなわれる街を目指し、子どもが主役の職業体験施設やファミリー向けの賃貸マンション建設といった自社敷地を活用したエリアリノベーションを具体的なスケジュールと合わせて提案しました。



### 2 | スノーピークビジネスソリューションズ

「(株)スノーピークビジネスソリューションズ」は、人や自然をつなぐシェアハウス「ouchi」の運営を提案しました。QURUWA地区の空き家を岡崎市の中山間地域額田の木材を活用して社員や住人でセルフリノベーションし、持続可能な心地よい暮らしをデザインすることで移住や地域企業の採用、定着の促進が期待されます。すでに住人候補は決まっており、顔が見えている状態。現在は物件を探しており、2024年4月のオープンを目指していることでした。

### 3 | 大冷工業

空気や水の道をつくる「大冷工業(株)」は、瞬

間冷凍デモ機を購入して手にした技術を活かし、QURUWA地区の飲食店と協力して「丘の途中のマーケット」に出店したり、大型トラックにサウナを乗せたサウナトラックとコラボして瞬間冷凍のドリンク開発などを進めてきました。加えて今後は自社の敷地を駐車場として貸し出し、その利益をQURUWAに再投資していきます。

### 4 | 岡崎まち育てセンター・りた

「(特非)岡崎まち育てセンター・りた」は、QURUWA地区の課題として住まいの選択肢が少ないと、そして西梅園地区の課題として空き家の増加や少子高齢化に加え、路地に面していない後背敷地の建設可能性がなくなることや、木造密集のため災害時のリスクが高いことを挙げました。それらをまとめて解決する手段として、空き家を活用した住まいの受け皿づくりを、そして将来的には無接道敷地の解消および空き家活用を実現し、そのモデルを市内他地域へ展開することを提案しました。



### 5 | SCENES

主にウェディング事業や人生の節目の祝いのプロデュースを手がける「合同会社SCENES」は、岡崎ならではのオリジナルウェディングとして、中山間部額田のみつわ広場や天使の森、またQURUWA地区にあるお店や菅生神社、桜城橋などのまちの資源をフルに活用したウェディングを実施しました。今後は、10年後までの未来の自分たちに手紙を届けるサービスを家族写真撮影に付加し、過去と今と未来を繋ぐサービスや、結婚準備が楽しくなるようなプログラムを実施予定です。

### 6 | つばさ交通

旅行会社の「つばさ交通(株)」は、QURUWA地区にて自社栽培を始めたしいたけの販売や、しいたけ狩りや岡崎市の山田農園の有機野菜収穫を体験できるツアーの企画をしましたが、バスの使用による価格上昇や集客の難航により決行ができず、トライしたからこそ課題がより明確になり次のアクションにつながりました。しいたけ販売については店頭看板を

設置することで認知が広まり、販売数が格段に上昇。今後はよりプランニングを意識したパッケージの変更を実施するとともに、自社のインフラとしてバスを活用したシェフによる調理を付加した収穫体験ツアーやサウナツアーや開催を検討します。

### 7 | 山田農園

「(株)山田農園」は、カレーに使う野菜を例に挙げてそれぞれの収穫時期にはズレがあることに触れ、一般の人々の農業への理解が低いことを課題として挙げました。そこで、農業への理解者を増やすために、QURUWA地区に「街中農園」をつくる、畑づくりのプロデュース事業を提案しました。今年度は、籠田公園と桜城橋の間に位置する中央緑道沿いの複合施設「偶偶 GUUGUU」と、隣接する「オーカジエラート」の駐車スペースとの隙間に、オーカジエラートで使用する野菜、果物を栽培する畑をつくりました。今後はスノーピークビジネスソリューションズの社員寮に街中農園をつくることを展望しています。

## 昨年度の参加者4社による進捗

### 8 | マルサ

昨年から引き続いている参加の「(株)マルサ」は、今年10月にジェラート屋「オーカジエラート」を「偶偶 GUUGUU」1階にオープン。夏のオープンを逃したもの、初月は暖かい気候とSNS効果もあり高収益。ところが11月中旬からの寒気により売り上げが急降下。冬をどう乗り越えるかを今後の課題として挙げ、スノーピークビジネスソリューションズと協力して一つの製作および中央緑道への試験的な設置などを提案しました。

### 9 | コネクトスポット

「孤独感のある人」と「まち」をつなぐ福祉サポートをおこなう「NPO法人コネクトスポット」は、その活動が市民にとって身近に捉えづらく、オープンイノベーションが起こしにくいことを課題として挙げました。アクティブな人だけでなく、まちの全ての人と接点を持つことを目的とし、昨年度は自分らしさや周りの人を大切にするための「いいんだよカード」を制作、配布。今年度は誰でも移動販売ができる車を購入、今後はシェアカー「ゆるくる」として利用し、それを通じて課題解決するためのコミュニティをつくりていく提案をしました。現在はコラボできる

方の募集に加え、2024年2月まではトライアルでゆるくるの無料貸し出しを実施しています。

### 10 | ドゥーラステーションめぐる

昨年度参加の「(一社)ドゥーラステーションめぐる」は、引き続き産後ケアの利用促進・子育て支援の質向上を目的として、今年度は法人化、行政の産前産後ヘルプサービスへの参入準備、ドゥーラ養成講座の開設をおこない、2024年1月にドゥーラステーション「QURUWAこそだてひろば tetowa」(以下、「tetowa」)を共同で運営する北西に開所することを発表しました。tetowaのお昼寝部屋には、小野ふとん店が寝具を提供。今後も企業と連携し徐々に設備を充実させることや、行政との相互連携により市民サービスの向上を図り、岡崎市の子育て環境を整えることを課題として挙げました。

### 11 | Tイノベーション

「Tイノベーション(株)」は昨年度の参加で、QURUWA地区内の後継のいないお店の承継や、中山間地域の間伐材を利用した照明器具制作、PR動画製作の事業化を提案しました。今年度は、地方の先進地に何度も足を運び視察し、また間伐材の根深い課題に対して「ShopBot」という木材の加工ができる機械を導入することでいろんな人が山の問題に触れるきっかけづくりを目指しています。また、既存顧客に木質化を提案する際、山での間伐体験と植林をすることを絶対条件とし、人々と山との距離が縮まるよう働きかけています。

後半では、座談会もおこなわれました。



QURUWAウェブレポート



前半

後半

実案件



オーカジエラート tetowa 偶偶

## QURUWAプロジェクト-11

# 情報発信座談会 「QURUWA発信 みんなの座談会」

2024年2月9日、QURUWAの情報発信に関する悩みや考え方をお互いに持ち寄り、自由に話をできる座談会を Camping Office osoto Okazaki にて開催しました。

インスタグラムを開くと、QURUWAにまつわる情報を発信しているアカウントがいくつもあります。それを見るだけでも、このQURUWA地区に関する情報発信を担当している人がさまざま



### ご参加のみなさん

① Micro Hotel ANGLE (籠田公園前のホテル経営とまちの発信)	飯田さん	QURUWAウェブの「あとの人のトライ」「探索」担当 名鉄東岡崎駅内のQURUWAお知らせ掲示板の更新担当
② ONERIVER (乙川を拠点にした市民団体)	山田さん	QURUWAウェブのイベント情報担当 図書館交流プラザりぶら内のQURUWAお知らせ掲示板の更新担当
③ 株式会社都市機能計画室 (まちのリサーチと提案実装)	榎原さん	QURUWAウェブの構築と運用監理
④ 株式会社 Q-NEXT (自治会連合から派生したまちづくり会社)	柏木さん	自治会の出来事を発信
<b>7町・広域連合会 次世代の会</b>		
⑤ 一般社団法人 岡崎市観光協会	梅澤さん、麻生さん	「岡崎お出かけナビ」など観光に関する発信
⑥ ホーメックス株式会社 (指定管理者)/リバーライフ推進委員会	寺田さん	籠田公園や乙川の様子を発信
⑦ 一般社団法人岡崎パブリックサービス (指定管理者)	清水さん	岡崎公園の様子を発信
⑧ 株式会社まちづくり岡崎 (都市再生推進法人)	長谷川さん、阿部さん	「ぼけろーかる」「こりん」など地域密着情報の発信
⑨ 株式会社スノーピークビジネスソリューションズ (組織及び地域活性化のための各種研修事業など、指定管理者)	磯貝さん	「Camping Office osoto」とまちの活動を発信
⑩ 岡崎市 拠点整備課	津田さん、田中さん	東岡崎駅(HIGAOKA_2030)の発信
⑪ 岡崎市 公園緑地課	森さん、石川さん、林さん	岡崎市内の公園にまつわる発信
⑫ 岡崎市 まちづくり推進課	中川さん、高橋さん	QURUWAに関する発信

まいことがわかります。ところが、その発信を担当する人たちが集まって情報交換や交流をする機会は今まで多くありませんでした。

今回は話しやすいように、くじ形式でお題を用意し、「みんなに聞いてみたいこと」「みんなとやってみたいこと」「みんなに伝えたいこと」の3つについて、みんなでお話をいきました。

「ネタ切れで困っているけれど、どうやって情報収集をしていますか?」「会議に参加しました」とあげてもあんまり「いいね」がつかない

「整備されたエリアのその先の使い方を提案や紹介していくような発信がしたい」「このエリアに足りないものをいれていきたい」「専門性や知識をすごく持ってる人、物を修理する技術すごい人などをどう伝えていったらいいの

かな」などなど、キャンプのような雰囲気の中で、みんなざっくばらんにお話や情報提供がありました。

各々が「人」を通してまちの魅力を伝える記事を発信していることを共有し合い、さらに乙川を拠点にした市民団体「ONE RIVER」山田さんは、QURUWAウェブサイトのイベント情報発信を担当していることもあり、「ぜひ積極的にイベント情報を提供いただければと思っています」と情報発信を呼びかけていました。

### QURUWAウェブレポート



## QURUWAプロジェクト-12

# 回遊支援

QURUWA戦略(乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画)では、その将来像「これから約100年を暮らすまち～新しい住み方・働き方・遊び方を楽しむ～」を実現するための目標の一つとして「歩いて楽しく、自転車で回れて、車でも来やすいまち」を掲げています。ゆえに、「歩きたくなる=ウォーカブル」な都市であること、そして地区内をめぐる「回遊性」が向上することが求められています。

### 参考記事



魅力的な拠点や動線が生まれ育つQURUWA地区では、徒歩のみならず、自転車、バス、次世代モビリティ、歩行動線の連携などエリアをめぐる充実した交通機能によって、QURUWAで暮らす人も、働く人も、外から訪れる人も、一

また、駐車場は自動車という重要な交通を支

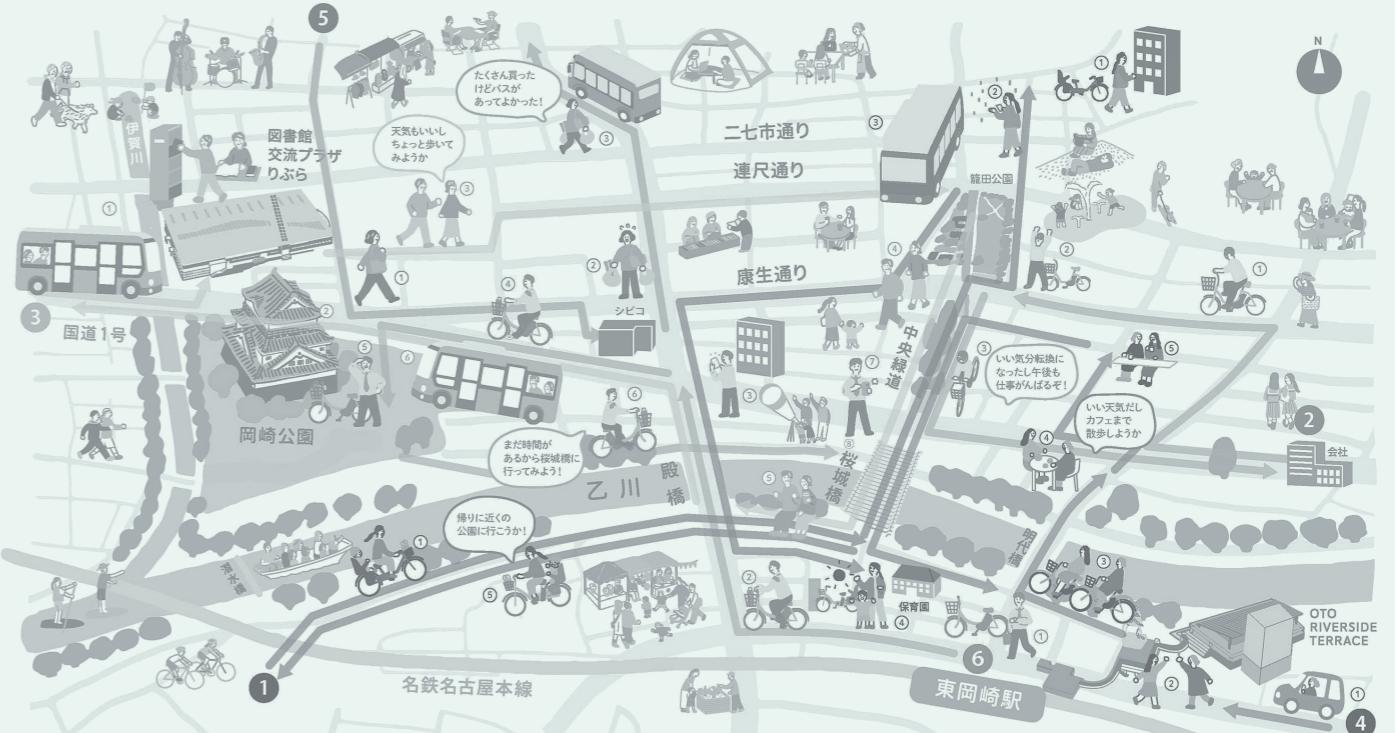
える機能である一方で、無秩序に散在する駐車場は、人と車の交錯が生まれ危ないほか、まちなみの連続性を損ない、まちの魅力を低下させます。

駐車場の集約化や、駐車場の緑化、まちづくりに資する用途への転用など、全国的に駐車場のあり方が見直されています。

2023年度は「歩いて楽しく、自転車で回れて、車でも来やすいまち」を目指すため、駐車場をQURUWAの入口と見立てて、駐車場が連携する場所にサイクルシェアのポートを設置してみて、車から自転車への乗換促進を促す取り組みを実験的におこないました。

電動キックボードや、シェアカー、または将来には自動運転など多くの交通サービスが生まれていくなか、人が回遊するウォーカブルなまちを目指して回遊プロジェクトに取り組んでいます。

もっと身近に、もっと気軽に、もっと楽しく。  
QURUWAを歩いて暮らすストーリー



# 関連プロジェクト 有料視察、 スタートしました

これまで行政が無料で対応していたQURUWAの視察を有料化しました。視察を希望される方々それぞれの関心によりそなうことができる複数のプランを用意しています。

視察を民間事業化し、官民の窓口を一本化してより分かり易く受付/調整ができるようにしています。そのため、官民双方の話を同時に各実践者から聞くことができるがこの視察の最大のメリットです。

視察の収益は、QURUWAに再投資しています。

詳細はこちる



QURUWAウェブ  
「QURUWAと」  
でもご案内しています



現地視察

岡崎市「QURUWA戦略」視察 | リノベーションまちづくりについて  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QURUWA戦略におけるリノベーションまちづくりについて」...  
@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名  
#地域活性化 #まちづくり #公民連携 #リノベーション #QURUWA  
詳細・予約 110,000円

岡崎市「QURUWA戦略」視察 | 新しい観光"暮らし感光"について  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QURUWA戦略における新しい観光"暮らし感光"について」...  
@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名  
#地域活性化 #まちづくり #公民連携 #宿泊 #プランディング #QURUWA  
詳細・予約 110,000円

岡崎市「QURUWA戦略」視察 | 自治会主催のエリアマネジメントについて  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QURUWA戦略における自治会主催のエリアマネジメント」...  
@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名  
#まちづくり #公民連携 #エリアマネジメント #市民活動 #自治会 #QURUWA  
詳細・予約 110,000円

岡崎市「QURUWA戦略」視察 | 乙川のかわまちづくりについて  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「QURUWA戦略における乙川をフィールドとした"かわまちづ..."  
@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名  
#まちづくり #公民連携 #市民活動 #市民団体 #QURUWA  
詳細・予約 110,000円

岡崎市「QURUWA戦略」視察 | 官民それぞれの目線で語るQURUWA戦略概要説明  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき11,000円追加となります。■視察について本プランでは、レクチャーとまち歩きを行います。テーマは、「行政・民間それぞれの立場から行うQURUWA戦略の概要説明」...  
@愛知県 岡崎市 | 3時間 | 1-50名  
#地域活性化 #まちづくり #公民連携 #リノベーション #観光 #PPP #公園  
#プランディング #QURUWA  
詳細・予約 110,000円

選べる現地視察

複数テーマから学ぶ、岡崎市「QURUWA戦略」視察  
【注意】視察料金について、11名以上の場合は、1名につき18,700円追加となります。■QURUWA戦略とは2023年度「グッドデザイン賞(上位20位)」を受賞した、公民連携まちづくりで評価される「QURUWA戦略(愛知県岡崎市)」...  
@愛知県 岡崎市 | 4.5時間 | 1-50名  
#地域活性化 #まちづくり #公民連携 #リノベーション #観光 #PPP #公園  
#プランディング #QURUWA  
詳細・予約 187,000円

# 関連プロジェクト 2023年度の 都市再生推進 法人

岡崎市HP



都市再生推進法人とは、まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制・人材等が整っている優良なまちづくり団体に公的な位置づけを与え、あわせて支援措置を講ずることにより、その積極的な活用を図る制度です。2023年度に、ひとつの指定、そしてひとつの取り消しがありました。

都市再生推進法人には、市町村や民間デベロッパー等では十分に果たすことがきない、まちづくりのコーディネーター及びまちづくり活動の推進主体としての役割を果たすことが期待されます。  
●2023年度の指定 | 株式会社 Q-NEXT  
●2023年度の取り消し | 株式会社三河家守舍

法人の名称	法人の住所/事務所の所在地	指定日
1 特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた	岡崎市梅園町字3丁目6番地6	令和元年5月22日
2 株式会社まちづくり岡崎	岡崎市康生通東1丁目21番地	令和元年5月22日
3 株式会社 Q-NEXT	岡崎市康生通東2丁目44番地	令和6年3月27日

# 関連プロジェクト オリジナル 「えびすくい音頭」

大河ドラマ「どうする家康」に、三河武士が踊る(えびすくい)のシーンがたびたび登場します。家康公生誕の地・岡崎から、家康公ゆかりの地そして現代へ! 家康公をキーワードに踊りでつながるプロジェクトとして「えびすくい音頭」を考案。QURUWA7町・広域連合会を中心となっておこなうQURUWA夏祭りをかわぎりに、さまざまな場所で踊りました。

主催:QURUWA夏祭り実行委員会、  
岡崎城下家康公夏祭り実行委員会



Instagram QURUWA夏祭りHP



気軽に外に持ち出せるキャンプ道具を利用して、屋外で自然を感じながら気持ちよく働く新しいワークスタイル“キャンピングオフィス”。本市と協定締結している(株)スノーピークビジネスソリューションズにより外で働くをテーマに桜城橋にてキャンピングオフィスをスポット

開催しています。

osotoウェブ



Instagram

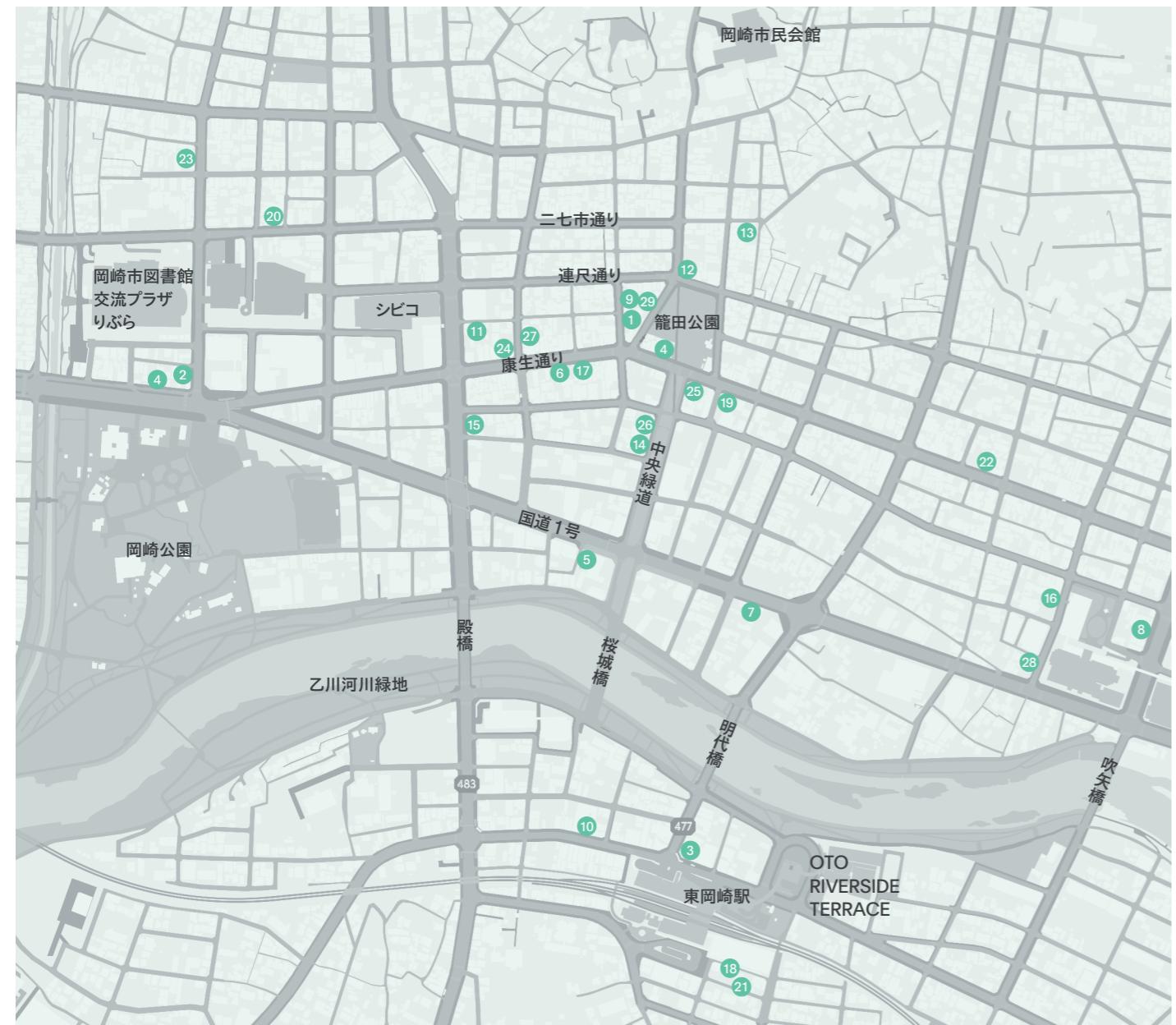


QURUWAウェブ



## 関連プロジェクト

# QURUWA 出店情報



## 2023年

- 1 JAN DARA RIN | アパレル
- 2 ANUENUE CAFÉ | 猫カフェ
- 3 番い-tsugai- | 中華そば、おにぎり
- 4 DINING MASHIRA | 洋食レストラン
- 5 greenshop teto | 多肉植物専門店
- 6 金のうま | スイーツ&馬肉セレクトショップ
- 7 PICHU | クラブ
- 8 おむすびの十楽 | おむすび屋
- 9 SUNNY & SUNNY | 沖縄タコス&タコライス専門店
- 10 OMEN 東岡崎店 | 水たばこ

- 11 レゲンボーゲ | 古着屋
- 12 とんかつしば太 | とんかつ(期間限定)
- 13 今からスイーツ | スイーツ
- 14 オーカジエラート | ジェラート
- 15 チョコザップ | ジム
- 16 Quiet Village | ダイナー
- 17 TERAKADO COFFEE ニューヨーク店 | カフェ
- 18 カリトロ | たこ焼き
- 19 黒牛 muranokajiya | 焼肉店
- 20 こそだて広場 tetowa | ドゥーラ(産前産後ケア)

- 21 焼肉酒場 Takamiya | 焼肉酒場
- 22 ラーメンストックTOKYO 岡崎伝馬通店 | ラーメン
- 23 シェア型私設図書館＆ワークショップスペース MAYU | 私設図書館
- 24 メロンラボ岡崎康生通店 | メロンパン専門店
- 25 北欧食堂モールティド | 北欧食堂
- 26 人々 | 焼き菓子
- 27 ウナギの成瀬 | うなぎ屋
- 28 フラワーショップ「dress」 | 花屋
- 29 TAKO QUEEN | たこ焼き

## 会議

# 2023年度 乙川リバーフロント地区まちづくり デザイン会議

デザイン会議とは、QURUWAプロジェクトへの提案・助言・評価とともに、公民連携と都市デザインのクオリティコントロールをおこなうため、まちづくり専門家と主要まちづくり4部局等から構成された戦略会議体のことです。

### ●メンバー

- [乙川リバーフロント地区まちづくりデザインアドバイザー]
- 清水義次 | 株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役
- 藤村龍至 | 東京藝術大学准教授
- 西村浩 | 株式会社ワークヴィジョンズ代表取締役
- 伊藤孝紀 | 名古屋工業大学大学院准教授
- 長谷川浩己 | 有限会社オンサイト計画設計事務所
- [民間事業者]
- [岡崎市職員]
- [QURUWA7町・広域連合会関係者]

- (2)南康生家守舎「GUUGUU」について
- (3)QURUWAシンポジウムについて  
-わたしが描く「ひがおかの未来」-
- (4)グッドデザイン賞について

### ・議題2:QURUWA戦略の更新

- (1)QURUWA戦略更新
  - ・波及エリア拡大ルールについて
  - ・公民の各役割について
- (2)太陽の城跡地暫定活用の進め方について
  - ・目的、コンセプトについて
  - ・体制について

### ●第3回

日時:2023年11月15日[水]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:QURUWA戦略の更新

- (1)行政と民間、さらに地域の役割分担について
- (2)目指す都市像について
- (3)波及エリア拡大ルール

### ●第4回

日時:2024年2月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第2回

日時:2023年10月10日[火]13:30-16:00  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題1:情報共有(令和5年度事業)

- (1)令和5年度主要事業スケジュール
- (2)グッドデザイン賞へのエントリーについて
- (3)視察事業化について
- (4)太陽の城跡地の今後について
- (5)桜城橋と殿橋テラスの今後について
- (6)7町・広域連合会と次世代の会について
- (7)QURUWAシンポジウムについて
- (8)東岡崎駅エリアのロゴについて
- (9)公民連携レクチャーについて

### ・議題2:清水義次氏レクチャー

「真の公民連携とは」

### ・議題3:QURUWA戦略の更新

- (1)エリア拡大について
- (2)何のために(Why)の更新について
- (3)どうやって(How)+誰が(Who)の再編について

### ●第1回

日時:2023年7月31日[月]13:30-16:00  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題1:情報共有(令和5年度事業)

- (1)令和5年度主要事業スケジュール
- (2)グッドデザイン賞へのエントリーについて
- (3)視察事業化について
- (4)太陽の城跡地の今後について
- (5)桜城橋と殿橋テラスの今後について
- (6)7町・広域連合会と次世代の会について
- (7)QURUWAシンポジウムについて
- (8)東岡崎駅エリアのロゴについて
- (9)公民連携レクチャーについて

### ・議題2:清水義次氏レクチャー

「真の公民連携とは」

### ・議題3:QURUWA戦略の更新

- (1)エリア拡大について
- (2)何のために(Why)の更新について
- (3)どうやって(How)+誰が(Who)の再編について

### ●第2回

日時:2023年10月10日[火]13:30-16:00  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題1:情報共有(令和5年度事業)

- (1)QURUWA地区固定資産税の推移について

### ●第3回

日時:2023年11月15日[水]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:QURUWA戦略の更新

- (1)行政と民間、さらに地域の役割分担について
- (2)目指す都市像について
- (3)波及エリア拡大ルール

### ●第4回

日時:2024年2月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第5回

日時:2024年3月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第6回

日時:2024年4月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第7回

日時:2024年5月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第8回

日時:2024年6月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第9回

日時:2024年7月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第10回

日時:2024年8月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第11回

日時:2024年9月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第12回

日時:2024年10月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第13回

日時:2024年11月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第14回

日時:2024年12月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第15回

日時:2025年1月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第16回

日時:2025年2月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第17回

日時:2025年3月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

### ・議題:

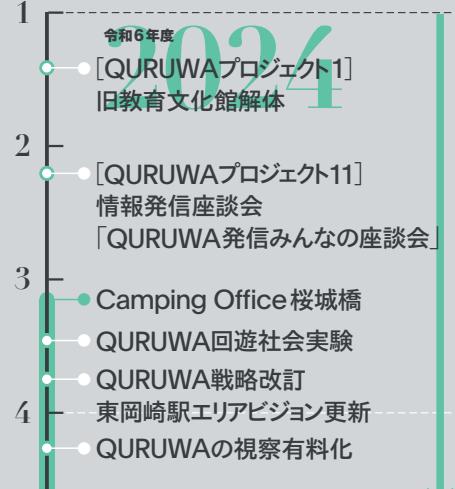
- (1)QURUWA戦略の改訂における「目指す都市像」について
- (2)太陽の城跡地、殿橋テラス、桜城橋、乙川河川緑地の状況を踏まえた今後の方向性について

### ●第18回

日時:2025年4月15日[木]13:30-14:50  
場所:岡崎市役所西庁舎7階701会議室

# PROJECT TIMELINE

## プロジェクトのタイムライン



## BACK NUMBER

### Vol.1

キックオフフォーラム  
シンポジウム  
デザインシャレット  
中間提言書

### Vol.2

キックオフフォーラム  
シンポジウム  
デザインシャレット  
中間提言書

### Vol.3

おとがわプロジェクトの  
全体像  
グランドデザインフォーラム  
市民インタビュー

### Vol.4

おとがわプロジェクトの全体像  
リノベーションまちづくり  
かわまちづくり  
基本設計ワークショップ  
シンポジウム  
まちのトレジャーハンティング  
フォーラム  
パブリックミーティング  
3つの会議

### Vol.5

[特集]  
QURUWA戦略  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり8年目の取り組み

### Vol.6

[特集]  
暮らしを豊かにする  
まちの使い方とは  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり4年目の取り組み

### Vol.7

[特集]  
進むQURUWAプロジェクト  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり5年目の取り組み

### Vol.8

[特集]  
公から民へのシフトチェンジ  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり6年目の取り組み

### Vol.9

[特集]  
プランディング &  
情報発信、始動  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり7年目の取り組み

### Vol.10

[特集]  
躍進する自治会主体の動き  
乙川リバーフロント地区的  
まちづくり8年目の取り組み

## CREDIT

発行元 岡崎市  
発行日 2025年3月  
企画・編集 株式会社都市機能計画室  
デザイン neucitora

問い合わせ先:  
岡崎市まちづくり推進課

QURUWA戦略係

tel: 0564-23-7421  
mail: quruwa@city.okazaki.lg.jp  
web: <https://quruwa.jp>

